

2022年3月11日策定

皆様へ

新型コロナウイルス感染症の流行下での都岳連運営

公益社団法人東京都山岳連盟

3月21日までのまん延防止等重点措置の再延長を受け、停止している事業をどうするか以下の通りといたしました。

本文、2の「事業再開の方針」のとおり、条件、要件を付して停止中の事業を再開する。今後、都岳連としては、どのような感染症対策を実行すれば感染リスクの低減をはかり、安全・安心な講習会を開催しうるかとの視点で協議を継続する

<経過>

3月1日（火）令和3年度第9回理事会開催

長期化が予想される感染状況下、事業の再開が可能か、また、その際の条件、要件はどうあるべきかを検討することを承認

3月3日（木）三役プラス開催

事業再開要件、タイミング等を検討

3月5日（土）三役会と安全登山教室委員会合同の検討会

3日の三役プラスでの検討を受け、3月19日～20日実施予定の安登教実技講習会を具体事例として実施可否、実施要件等について意見交換

1. 流行等の現状

(1) ワクチン3回目接種率

東京 65歳以上 60.6%（3月2日現在 NHK）

東京 全世代 17.7%（2月24日現在 NHK）

※ 全国的には、70～80万人/日の接種数

(2) 尾身会長国会発言 3月2日 ※ 一部抜粋

「高止まりという可能性もあるし、場合によっては（オミクロン株の）『BA.2』の問題もあるので少し上がるということもあるし（一部省略）、また、今回の“第6波”が落ち着いたとしても、新たな変異ウイルスが出てくる可能性などもある」として、「中長期的に対策を考える必要がある」との認識を示しました。（02日TBSニュースから）

(3) 最近のニュースから

軽症で済んだが、倦怠感や嗅覚味覚障害などの重い後遺症が続く事例（年代に関わらず）が見られること、死亡率がインフルエンザより格段に高いとみられていることなどから第5類への引き下げは当分ないとも報道されている。



まとめると・・・

3回目接種の進展、治療薬の普及。→ 収束への期待

一方で長期化の可能性、まさかの再々延長。高止まりのまま推移などこれ迄とは異なり、先々の予測が難しい

5類への変更は期待薄（待機者の問題が解決できない）

マイナス財政の長期化、都岳連離れ、担当者のモチベーションの問題が顕著に



感染症対策を徹底しての事業再開は必須。社会的にも容認されるだろう

2. 事業再開に向けての方針

(1) 基本（日帰りか宿泊か、まん延防止等重点措置か否かを問わない共通事項）

- ① 事業ごとに三役会+担当理事での計画を検討の上での実施とする。計画が策定されたら感染対策を含めた計画をまとめて直ぐに三役あて申請する。

※救助・捜索など緊急性があるもの。雪山講習、資格取得検定講習などタイミングが限られるもの。外部団体からの受託事業。延期が不可能、困難

- ② 3回のワクチン接種証明、または、出発72時間前までのPCR検査と陰性証明（セルフチェックを含む）、もしくは直前の抗原検査陰性を実技講習の参加要件とする。かつ、出発1週間前からの健康観察表の提出をスタッフ含め参加の要件とする。 ※ 健康観察は、参加を認めない場合の目安など判断基準の検討が必要

③ これまで行ってきた感染症対策の基本行動（マスク着用、個人用消毒薬を持参し手指消毒、三密回避、換気等）については、講師・スタッフ、受講生とも緩めることなく確実に実行する。

④ 講師・スタッフでの感染症対策の情報共有をし、かつ受講生への事前、実施中の周知徹底と実行を図る。特に、感染のリスクをしっかりと理解し、講習中に個人としての感染症対策を徹底することも重要な講習内容とする。

（２）実施する場合の留意点

① 高リスクが予想される宿泊を伴う講習、貸切バスを使用する講習

ア. まん延防止等重点措置の期間は原則的に中止か延期などの対応をとる。

イ. ただし、中止、延期が困難な場合は、山小屋やバス会社との連絡を密にして、感染症対策が施されているかを確認の上で実施の可否を判断する

ウ、オミクロン株ではエアロゾル感染もあるとされており行動時もマスク着用の原則、バスのトイレノブ等の除菌、バス・施設共用部利用時の手指消毒の励行。

② 参加人数について。密閉、密集、密接の三密を避け得るため、受講生を可能な限り少人数で実施する。多人数となる場合は、5～10名程度の班編制で少人数化しての活動とする。

3. その他

（１）今後一定程度の流行の収束が見られた場合、あるいは逆に一層悪化した場合など状況の変化が生じた場合は、感染症対策と実施可否の判断基準を検討変更し、即応していく。

（２）机上講習では、受付時の検温などの健康観察と手指の消毒、三密を避ける配席、室内の換気の徹底を図る。

以上